

CAFC のレーダー首席判事が辞任、後任はプロスト判事

2014 年 5 月 24 日

JETRO NY 諸岡

米国巡回区控訴裁判所(CAFC)は 23 日、ウェブサイト¹にてレーダー首席判事が 5 月 30 日に辞任し、後任にプロスト(Sharon Prost)判事²が就くことを発表した。同発表によれば、レーダー首席判事は、CAFC の判事職を継続しつつ外部での講演や教鞭をとるとのことである。

CAFC の首席判事は、CAFC 長官ともいべき役職であり、CAFC の事務全般を統率する他、対外的にも CAFC を代表して行動する責任ある立場である。

今回の辞任は、レーダー首席判事がパネルの一人を構成している事件に関する訴訟当事者の代理人弁護士に対し、同氏を称賛する電子メールを送付したことによるもの。本件の発覚後、レーダー首席判事はパネルから外れている。

CAFC は原則 3 人のパネルを構成し、それぞれの判事が完全に独立していることから、首席判事が代わったことにより、判決の方向性が 180 度変わるということは考えがたい。なお、これまでの判決からみると、レーダー首席判事は特許適格性を広い範囲で認めるのに対し、プロスト判事は特許適格性の適用に厳しい傾向がある。

本件の概要は報道によれば以下の通り。

The Wall Street Journal³(5 月 23 日付)

CAFC はウェブサイトでレーダー首席判事が 5 月 30 日に辞任し、プロスト判事が後任となることを発表した。レーダー首席判事はプレス非公開の会合⁴にて辞任を認め、今後は CAFC の判事として籍を残しつつ、米国や海外のロースクールで教鞭をとるとした。

¹ [CAFC ウェブサイト](#)

² [プロスト判事の経歴](#)

³ <http://online.wsj.com/news/articles/SB10001424052702303749904579579812262152046?mg=reno64-wsj&url=http%3A%2F%2Fonline.wsj.com%2Farticle%2FSB10001424052702303749904579579812262152046.html>

⁴ Federal Circuit Bar Association 等による会合

レーダー首席判事は今年初め、Weil Gotshal & Manges LLP 所属の Edward Reines 特許弁護士に対して同氏を称賛する電子メールを送付した。同氏はレーダー首席判事がパネルの一人となっていた Microsoft 社及び Medtronic 社に関する 2 件の事件において法廷に立っていた。この電子メールが他の弁護士たちに伝わったことにより問題となった。

本件が問題となったことを受け、CAFC はレーダー首席判事をパネルから外すことを公表した。

CAFC の判事と弁護士は、特許に関連した会合のパネルディスカッションで同席することも多く、親しい間柄となる。

レーダー首席判事の書面

レーダー首席判事は 23 日付で同僚判事宛の書面を公表している⁵。

書面では、超えてはならない線を越えてしまったことを認めたが、判決は公平に行ってきたことを強調した。また、電子メールを送った弁護士の名前は出していないが、法廷に立った弁護士に電子メールを送ったことは後悔していると述べている。

(了)

⁵ [公表書面](#)